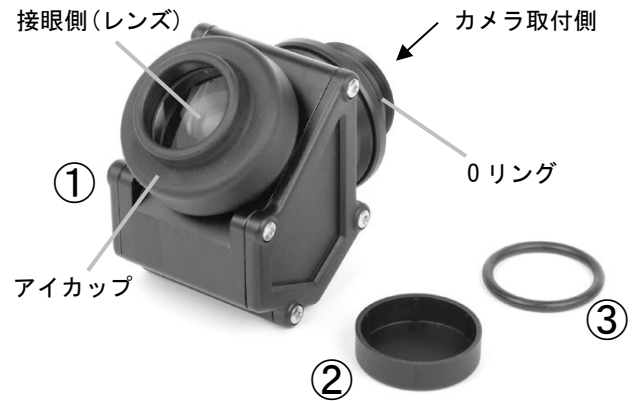


INON

45° ビューファインダーユニット II D10

- 製品内訳
- ・ 45° VF II D10 本体 ① ×1
 - ・ レンズキャップ ② ×1
 - ・ 予備 O リング ③ ×1

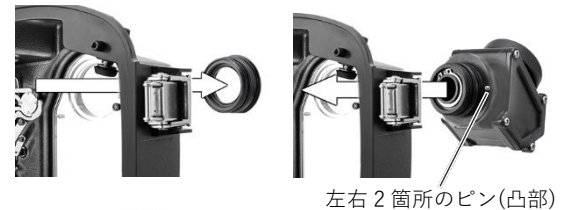
- 対応ハウジング
- ・ X-2 R5 Mark II
(2025 年 1 月現在)



- 取り付け方法
- ・ オプションの「X-2 ファインダーユニット専用工具」を用いて、ハウジングリアボディ裏側から「ファインダーユニット固定ネジ環」を取り外します



- ・ ハウジングにもともと備わっていた他ユニットを、外側に引き抜くように外します。
- ・ ビューファインダーユニットをセットします。ビューファインダー根元側の 2 本のピン(凸部)を、ハウジングリアパネルの凹部に合わせて押し込んでください。

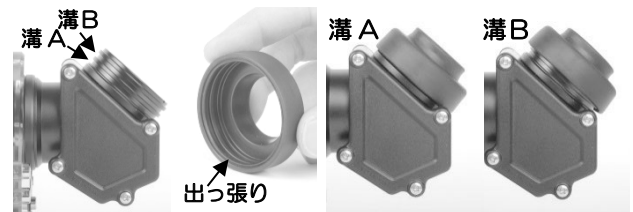


- ・ 「ファインダーユニット固定ネジ環」を、「ファインダーユニット専用工具」を用いて締め込みます。



- ・ 取り付け後、「バキュームリークセンサー」にてリークチェックを実施ください。

- アイカップの調整
- ・ 「45° ビューファインダーユニット II D10」は、アイカップの位置を 2 段階から選択できます。お好みに合わせてご選択ください。



- オプションについて
- ・ レンズキャップ(45° VF/STVF for X-2 用)
製品内訳画像中の②です。

- ・ 交換用 O リング(45° VF/STVF for X-2 用)
製品内訳画像中の③です。

- ・ 視度補正レンズ[+1.5D] for 45VF-II/STVF-II
カメラのファインダー視度調整範囲を超えて遠視や老眼の方に、調整範囲を(+1.5 ディ옵ター)シフトする視度補正レンズ。
本ファインダーマウント側の穴へ落とし、付属の工具で締めて固定します。
(水中での着脱不可)

- ・ X-2 ファインダーユニット専用工具
本製品の着脱を行うための専用工具。



INON

X-2

使用説明書 45°ビューファインダーⅡ 仕様追記

この度は、イノンハウジングのお買い上げ誠に有難う御座います。
本X-2は、「45°ビューファインダーⅡ」仕様となります。
この追記では、ご使用前のビューファインダー部の調節方法、ご使用時/ご使用後の注意点等について説明します。
X-2 使用説明書本編と合わせ、良くご確認ください。

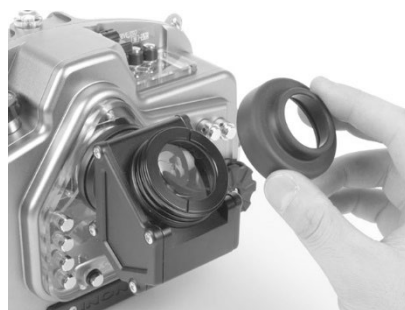
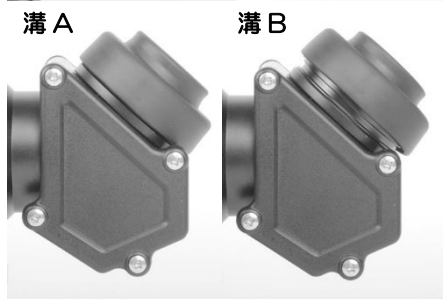
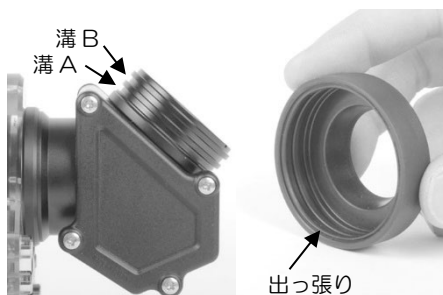
ご使用前の調節

イノンX-2 に装備された『45° ビューファインダーユニットⅡ』（以下「ファインダー」と記述）は、カメラ単体のファインダーを覗いた時と同じ大きさのまま、アイポイントを延長して、マスク越しでもファインダー像全体をケラしなく見る事が出来るアングルファインダーです。

実際の撮影時に、お手元のマスクによって異なる、最もファインダー像が見やすい位置でマスクの位置を固定出来る様、アイカップの位置を調節して頂く必要があります。

アイカップ位置の調節方法

- ① 「ファインダー本体」から、アイカップを剥く様にして取り外します。



- ② アイカップ側にある『出っ張り』を、「ファインダー本体」側の『溝 A』 / 『溝 B』どちらに嵌めるかで、アイカップを下記 2 パターンの深さに固定出来ます。

- ③ ご使用のマスクを実際に装着した後、水中でのご使用時と同じ様に、マスクのレンズ面をアイカップにぴったりと密着させて、実際のファインダー像を確認します。『溝 A』 / 『溝 B』のいずれか、より見やすい位置にアイカップを固定して下さい。

殆どのマスクでは、『溝 A』を使用する事でよい結果が得られます。但し、レンズ面と、目との距離が極端に短い、一部のマスクをご使用の場合には、『溝 B』を使用する方が良い場合もあります。

ご使用時/ご使用後の注意点

X-2 の使用説明書に記載の注意点に加えて、下記の項目をお守り下さい。

取り扱いに関して

● 「ファインダー」の接眼部はゆっくりと操作して下さい

「ファインダー」接眼部の回転操作は、必要最低限の速度で、ゆっくりと行って下さい。

必要以上に速い速度で操作を行うと、O リングが振れたり傷ついたりして、浸水事故を引き起す可能性があります。

操作に必要な力が大きくなってきたり(操作が硬くなってきたり)、可動部に砂が噛み込んでしまった場合等、調子が悪い時には、ご購入店を通して、点検/修理をご依頼下さい。



● 太陽光が直接入射しない様にして下さい

カメラ本体にダメージを与える可能性がある為、直射日光が入射しない様にして下さい。

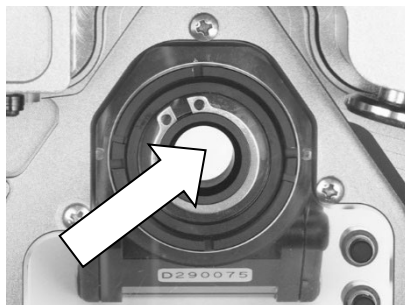
下図の通り、付属のレンズキャップを被せる(「ファインダー」が乾燥している場合のみ可能)か、ファインダー接眼部を下向きに回転させ、太陽光が直接入射しない様にする事をお勧めします。



● 「ファインダー」内部に水分/異物等を入れないで下さい

「ファインダー」のカメラ取り付け側は、防水/防塵構造になっていません。水分や異物等の侵入を防ぐため、X-2 内部を、常に異物等の無いきれいな状態にしておくと共に、X-2 リアボディ着脱の際には、十分ご注意ください。特に、水しぶきの掛かる場所や湿気の多い環境での X-2 リアボディの着脱は極力避けて下さい。

やむを得ず着脱を行う場合は、X-2 を真水で良く洗い、十分に水分を拭き取ってから、内部に水分/異物等が浸入しない様行なって下さい。内部に水分/異物等が入った場合は、ご購入店を通して、修理をご依頼下さい。



● 「ファインダー」を分解しないで下さい

「ファインダー」自体は、高度な技術で組み立てられています。故障、水没事故等の原因となりますので、絶対に分解しないで下さい。故障した時や調子が悪い時には、ご購入店を通して、修理をご依頼下さい。

ご使用後のメンテナンスに関して

ご使用後は、必ずアイカップを外してから、X-2 本体と共に、塩抜きを行って下さい。

塩抜きを行った後は、「ファインダー」の水滴をエアガン等で吹き飛ばし、必ず**レンズ面に水滴が残っていない事を確認して下さい**！

そのままの状態、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させます(完全乾燥には数日掛かります)。

アイカップは、「ファインダー」を完全に乾燥させた後、アイカップ自身も完全に乾燥している事を確認してから元に戻します。



保管方法に関して

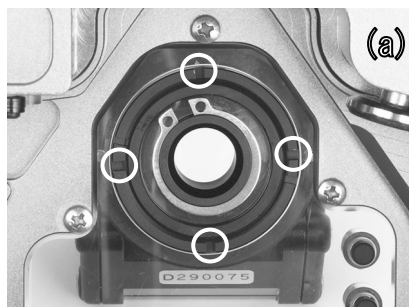
上記メンテナンス後、レンズキャップを被せ、X-2 と同様の条件で保管します。

付録：「ファインダー」の着脱方法について

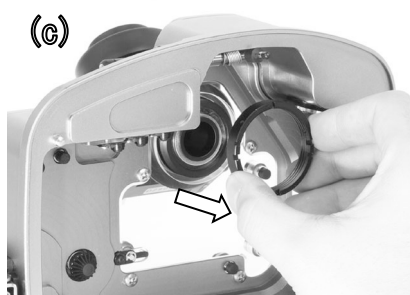
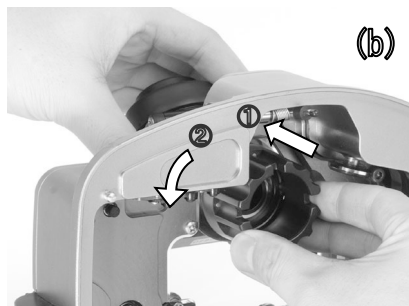
「ファインダー」は、他の「ファインダー」への換装等を行なえる様、ユーザー様自身で着脱可能な構造となっています。実際に「ファインダー」部分の着脱を行う場合は、浸水等の不具合を防ぐ為、以降の想定手順に従い、確実にこなして下さい。

「ファインダー」の取り外し

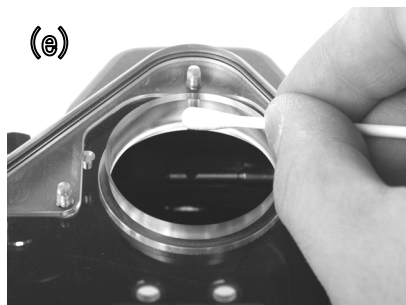
- ① X-2 リアボディに「ファインダー」を固定している“ファインダーユニット固定ネジ環”の四方に切っある『溝』[画像(a)]を確認します。



- ② この『溝』にX-2 付属の“X-2 ファインダーユニット専用工具”の『ピン』を嵌め[画像(b)①]、反時計方向にゆっくり回して[画像(b)②]“ファインダーユニット固定ネジ環”を外した後[画像(c)]、X-2 リアボディの“Oリング面”を傷つけない様に、「ファインダー」をまっすぐに取り外します[画像(d)]。



- ③ X-2 リアボディの“O リング面”にキズ
や異物の付着等がないかを確認します[画
像(e)].



「ファインダー」の取り付け【取り付け前の準備】

- ① 「ファインダー」のハウジング取り付け側にある、Oリング/Oリング溝にキズや異物の付着等がないか、X-2 への組み付けを行う前に必ず点検を行って下さい。

実際の点検は、X-2 付属の使用説明書内、「浸水を起こさない為に」をご確認の上、先ずは O リングをセットした状態のまま行って下さい。必要に応じて、X-2 付属のイノングリスを指先に少量取り、O リングの盛り上がった部分に薄く塗り伸ばして下さい。

- ② O リングを着脱/交換する必要がある場合には、下記の要領で行って下さい。

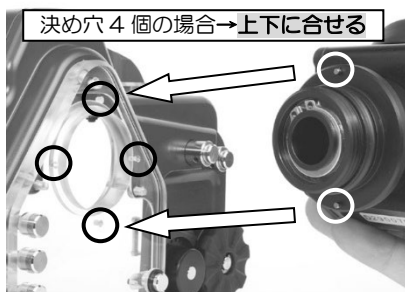
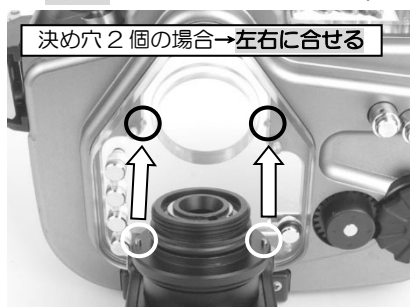
O リングを左右から寄せて[画像(f)、持ち上がった部分をつまんでゆっくりと外した後、O リング、及び O リング溝に、傷や異物の無い事を確認して下さい[画像(g)/(h)]。X-2 付属のイノングリスを指先に少量取り、O リングに薄く均一に塗り伸ばして下さい。O リングを交換する必要がある場合には、交換用 O リング(保守部品、別売)を別途準備して下さい。O リングにねじれない様に O リング溝に戻した後、今一度 O リング全体にねじれない事を確認して下さい[画像(i)]。





「ファインダー」の取り付け【取り付け方法】

- ① “「ファインダー」の取り外し”と逆の手順にて、X-2 リアボディに取り付けます。
下画像の通り、X-2 リアボディの“決め穴”と、「ファインダー本体」の“回転止めピン”とを合わせて、取り付ける必要があります。
- ② X-2 リアボディの“決め穴”には、『左右計 2 個』の場合と、『上下左右計 4 個』の場合の 2 通りがありますので、お手元の X-2 リアボディの“決め穴”が『左右計 2 個』の場合はそのまま**左右の“決め穴”**に、『上下左右計 4 個』の場合には**上下の“決め穴”**に合わせて取り付けて下さい。



この際、X-2 リアボディの“Oリング面”、および「ファインダー」の“Oリング”を傷つけない様に、ゆっくりとまっすぐに取り付けを行って下さい。また、“ファインダーユニット固定ネジ環”を締め付けすぎない様にご注意下さい。「ファインダー」が取り外せなくなったり、X-2 リアボディが破損したりする可能性があります。

「ファインダー」の取り付け後の確認

「ファインダー」の着脱を行なった後は、「ファインダー」と X-2 との間が気密に保たれている事を確認する為、ご使用前に必ず、清浄な真水(30° 以下)を満たした風呂等に、組み付け後のX-2 を沈めて静置し、浸水が無い事を確認して下さい。

X-2 のファインダー部は、従来のハウジングと異なり、お客様による手軽な交換が可能である一方、交換を行なわない場合であっても、ネジの緩みなどが発生し、意図せぬ浸水/落下などの事故に直結する可能性がある事に十分ご留意の上、毎回のご使用前に必ず増し締めを行って下さい。

オプション / 保守部品について

・ 交換用 O リング (45° ビューファインダーユニット/

ストレートビューファインダーユニット for X-2 用)

45° ビューファインダーユニット/ストレートビューファインダーユニット専用の交換用 O リングです。

ピックアップファインダーユニット / ファインダーウィンドウユニットの交換用 O リングとしては使用出来ません。十分ご留意下さい。

・ レンズキャップ (45° ビューファインダーユニット/

ストレートビューファインダーユニット for X-2 用)

ファインダーの接眼レンズ面を保護したり、ファインダー側から不要光が進入する事を防ぎます。

・ 視度補正レンズ [+1.5D] for 45VF-II/STVF-II

カメラのファインダー視度調整範囲を超えて遠視
や老眼の方に、調整範囲を(+1.5 ディオプター)
シフトする視度補正レンズ。本ファインダーのマウ
ント側の穴へ落とし、付属の工具で締めて固定しま
す。(水中での着脱不可)



株式会社 イノン 〒247-0061 神奈川県鎌倉市台 2-18-9
Tel. 0467-48-2174 / Fax. 0467-48-2178
E-mail support@inon.co.jp / URL <http://www.inon.co.jp/>

2019年7月

—— ファインダーの視度調整について ——

陸上は明るいので目の瞳孔は絞られており、被写界深度が深い状態です。この状態でファインダーの視度調整をしても、被写界深度内でセットしているだけであり“ジャスピン”ではありません。

これに対し暗い水中に入ると、瞳孔(絞り)は徐々に開いて被写界深度が浅くなり、結果的にピント調整機能が衰えた老眼の方はファインダー像が見えなくなります。個人差や年齢にもよりますが、暗順応で瞳孔が開くまで 15 分前後かかります。

水中より暗い陸上の部屋で、かつ瞳孔が開くまで 15 分ぐらい待ってから、カメラのファインダー視度調整をすれば、そこが“ジャスピン”となり、暗い水中で瞳孔が開いてもピントを合わせることができます。

適切な方法で事前に陸上で視度調整を行えば、高価となる水中での視度調整機能は必要ありません。
